



会長	阿部賢悟	幹事	遠藤光則	会報	飯塚仁哉	渡辺光悦
	江川元徳		佐藤静市		布施孝尚	
例会場	サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327					
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30					
事務所	サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327					

第2300回例会 2011. 4. 28 No.37

本日の出席率

- ・本日の出席率 75%
- ・前回確定出席率 78.84%

ニコニコボックス

- ・阿部泰彦会員 大震災救援活動、大変ご苦労様です。熊谷敏明会員のスピーチに期待して!!
- ・菅原文之会員 4月30日の南三陸物資輸送ボランティア、遠藤光則幹事宜しく願います。
- ・熊谷敏明会員 本日3年ぶりのスピーチです。よろしく願います。
- ・杉田広仁会員 昨夜、ふるさとの中学時代の仲間と楽しく仙台で飲んで来ました。
- ・遠藤光則幹事以下、熊谷敏明会員のスピーチに期待して。

鈴木彦太会員 布施孝之会員 村上武彦会員
 佐々木崇会員 佐藤敬喜会員 千葉吉男会員
 氏家良典会員 菅野幸一郎会員 山田直志会員
 伊藤俊郎会員 佐竹孝行会員 佐々木源悦会員
 岩瀬正彦会員 小泉洋会員 佐々木功一会員
 高橋利光会員 佐々木一寛会員 富士原裕子会員
 武川毅会員

以上、ありがとうございました。

会長要件 菅原文之会員

昨日、天皇、皇后両陛下が初めて東日本大震災の被災地お見舞いのため宮城県入りされ、南三陸、仙台の避難所を訪問。復旧から復興への転換期になりそうです。国難という文字が新聞紙面に出ています。最初の国難は蒙古襲来の時(弘安4年)だったそうです。それから、日清戦争、日露戦争、太平洋戦争と、ほとんど、戦争が国難だったようですが、今度は自然や原発が相手で大変に対応が大変になってくると思います。

南三陸の物資輸送ボランティア支援のお願いが来ております。私も行って来ましたが、次回は4月30日で遠藤光則幹事が行くことに決まっています。5月17日(火)はまだ行く人が決まっていますので参加出来る方は申し出てほしいと思います。

大宮シティRCの南三陸物資輸送(野菜・自転車)のお手伝いの依頼がきています。これにつきましては、阿部泰彦会員より説明があります。

又、川崎大師RCからの支援については遠藤幹事より、マッチンググラントについては八谷郁夫パストガバナーより説明していただきます。

幹事報告 遠藤光則幹事

・佐沼高校ETAより、23年度ETA総会の案内
 日時 5月26日(木) 19:30~20:30
 場所 佐沼高校1階会議室

・東京荒川RCより義援金20万円、川崎大師RCよりお見舞金20万円をいただきました。使用目的はまだ決まっています。両RCからは、何かあれば支援したいというお話をいただいております。先週、川崎大師RCの方々と南三陸町へ行ってきました。改めて悲惨さを感じ是非支援したいとのこと。又、竹田さんより、NPO法人マナーキッズプロジェクトの田中理事長さんが是非支援したいという話も来ております。

4月30日(土)、5月17日(火)、南三陸町支援物資輸送の要請がきています。参加出来る方願います。

各委員会報告

- ・米山記念奨学生カウンセラー(江川元徳会員)
 米山奨学生、韓国の留学生が帰国のためオリエンテーションが延期になっておりましたが、連休明けに来日しますので、5月12日(木)例会前に行きます。
- ・マッチンググラントについて(八谷郁夫会員)
 現在、2つのマッチンググラントを進めています。

1つは、漁業組合に運搬用2トントラックを3台と軽トラック3台を提供するプロジェクトです。ほぼ確定に近づいています。これは、アメリカないしカナダのRCと組んでやる予定でしたが、進行が遅れ4月末までに間に合わないため、改めて台湾の台中と鎌倉のRCと組むことになり、最終的段階に入っています。約1,300万のプロジェクトです。もう1つの方は、昨日、南三陸町に行き色々話を伺いましたところ、商工会が壊滅状態にあるとのこと。会員530名のうち463名が減、10%の方が残っているが、支援してほしいとのこと。ロータリーとして何が支援出来るか検討しているところです。総額1,200万位ですが、マッチングといっても被災地であります当クラブの負担は100ドルだけです。しかし、実施は佐沼RCとなっていますので責任は当クラブにあります。

・大宮シティの支援に関する件(阿部泰彦会員)

日時 5月4日(水) 午前9時

場所 登米市役所迫庁舎前

救援物資 ・自転車500~600台

・野菜6トン

20人~30人の手がほしいとのことですので、ご協力よろしく願います。

今週のスピーチ

「地震を振り返って」 熊谷敏明会員

まだ復旧の最中で今回の地震を振り返るには早いと思いますが、自分なりに振り返ってみようと思います。

私は、1958年生まれですが、今まで記憶に残っている地震が何度かあります。一番最初は、1968年の十勝沖地震です。この時は震度4でした。私は小学4年生でその時は授業参観日でした。当時の佐沼小学校は木造2階建てで、その2階の教室だったために震度4でも揺れが非常に大きくて、とても怖い思いをしたのを覚えております。授業参観中で、お母さんたちは子供をおいて皆逃げてしまいました。子供ながらにいざとなるところなるものか感じたのを今でも覚えています。

その次は、1978年の宮城県沖地震です。この時は、仙台で震度5でした。学生の2年生でした。これは夕方発生しました。その次は、2003年5月26日の三陸南地震、夕方6時24分に発生、その後7月26日、この時は佐沼夏祭りの時でした。2回続けて発生した時です。この時、私は今の仕事をしており復旧に一晩かかりました。それまでなかったことで、お客様からの呼び出しが非常に多くて一晩かかった記憶があります。それはどうしてかと言いますと、1978年以降2003年までの間にガスのメーター器が進化し、マイコンが入るメーター器になり、震度5以上になると自動的にガスを止めてしまいます。現在のものはもっと精巧になり、ガスを使っていないと止まりません。ガスを使い終わって1分間以内に強い揺れを感じた場合、あるいは、地震の揺れが終わってから1分以内にガスを使用した場合を含めて使用中にしかガスが止まらないということになります。このため、同じ地震であっても、この間の4月7日の2回目の地震は、夜11時過ぎに発生しましたので、あの時間帯はほとんどガスは止まりません。ただし、皆様が使用されている時に止まりますと、非常に復旧に時間がかかるという現実があります。この時に大変な思いをしましたので、当社では地

震時対応マニュアルを作り、強い揺れがきたらこういう対応をしようということを書き残しておりました。その間にいくつか地震が発生しました。2008年の6月14日の岩手宮城内陸地震5強、そういう時には対応してきたのですが、その年の11月12日に登米法人会と登米中央商工会と合同で地域活性化講演会がありました。阪神淡路大震災の語り部の方がいらっしやいました。大震災後の映像等を見せられ話を聞きました。その時に感じたのは、ほんとうに強い地震が発生した時には、私供が想定しているマニュアル等ではとても対応出来ないということで、どうしようかと真剣に考えました。その時に、丁度、宮城県の中小企業支援課でBCPの専門家派遣事業というのがありましたので、これに応募し、2009年の1月から専門家を派遣していただきBCPというものをつくることにしました。BCPというのは、事業継続計画と言い、これを半年間かけて作り2009年7月3日に一通り完成しておりました。BCP策定の目的は、災害が起きた時に自分の事業をどの様に継続していくか、あるいは、断念するのかということから想定が始まります。当然、全ての事業を継続することは出来ません。捨てるものと継続をしていかななくてはならないものを分けなくてはなりません。

当社の場合、LPガスの供給事業を継続することによって、お客様の生活と安全を確保する、それから社員と家族の安全を確保し、雇用の安定を目指す。地域住民の安定した生活の確保に協力することにより、地域経済の復興に貢献する。この様な3つの策定目的を作り、計画を策定しました。これは、LPガスの安全の確認と供給の再開を3日以内にするというのが目標です。2009年に策定通りにいろいろと準備したものがありません。やはり、一番困るのは生活用水、飲料水だということで、例えば、飲料水に関しましては、アクアクララを備蓄して置きました。これはお客様に売ってではなく、全社員が動けるように一週間分備蓄しました。生活用水に関しましては、スプリンクラー用の水が地下タンクに30トン貯まっていますので、それを汲み出して使用する。そして、使えなくなっていた井戸を復旧しました。この井戸に関しては今回の地震で使えなくなってしまいました。ガス使用の発電機を3台、飛散しないガラスの使用、建物の固定等も指導の下にしました。その結果、大きな被害がなく、予定通りに動くことが出来た部分がありました。けが人もなく物が倒れたりすることが少なく済み助かりました。

しかし、想定外のこともたくさんありました。停電による給湯器の凍結破損です。その復旧は9割方終わりましたが、本体や部品が入ってこないため一部終わっていません。

今回の地震でいろいろな経験をし、その中で感じさせられることが多々ありました。今までの様に物の供給が順調にしている時は、少しでも多く販売したいと考えてビジネスをやってきたような感じがしますが、今回の様に物がこない、停電によって灯油が地下タンクから汲み上げることが出来ないといった中で、非常に辛い思いをしたりしましたが、今出来ることをするしかないと思えるしかないという思いで対処しました。その中で人の本質を見ることも出来たと思います。広域の連携もとても大切だと思いました。